

「足し算の答えを確認してみよう！」

## ◆解答例



## ◆解説

もし なら というブロックを使用することで、特定の条件下でのみ作動するプログラムを作成することができます。

と聞いて待つ を使用することで、スプライトに ( ) 内の内容を質問させ、回答が入力できるようになります。

答え と 〇 = 〇 を組み合わせることによって、と聞いて待つ で行った質問への回答が特定の値ならば作用するプログラムを作ることができるようになります。

解答例の場合、質問の答えが全角文字の「5」である場合のみ、もし なら ブロックの処理を行うことができますようになります。